

幼児期の終わりまでに育ってほしい「10の姿」
 ①健康な心と体 ②自立心 ③協同性 ④道徳性・規範意識の芽生え ⑤社会生活との関わり ⑥思考力の芽生え ⑦自然との関わり・生命尊重 ⑧数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 ⑨言葉による伝え合い ⑩豊かな感性と表現

入学時の児童の姿
 ■関心をもったことに積極的に取り組んでいる。
 ◆先生や友達の話に関心をもち、聞こうとしている。
 ●先生や新しい友達や環境に積極的に関わろうとしている。
 ★指示を聞いたり掲示を見たりして行動しようとしている。
 ♥体験や活動の中で、言葉や数を身振り手振りを使って伝えている。

2023年度(令和5年度) 福山市立緑丘小学校

学びをつなぐ スタートカリキュラム
 人をつなぐ

緑丘小学校 教育目標
 たくましく生きぬく力をもつ子どもの育成

緑丘小学校 めざす子ども像
 ■課題を見つけ、見通しを持って仲間と共に解決しようとしている。
 ◆自分の意見と相手の意見を比べながら聞き、より良い考えを創り出し、根拠を明らかにして相手に説明している。
 ●相手意識を持ち、積極的に人間関係を築こうとしている。
 ★様々な活動にすすんで挑戦し、自らの行動や学びが適切であるか振り返りながら、責任を持ってやりとげようとしている。
 ♥体験や活動を通して、学びの基盤となる言葉と数を獲得する。

城東中学校区 育成する力
 ■課題を見つけ、解決の道筋を見いだす力
 ◆根拠を持って、相手を説得する力
 ●自他を認め合い、思いやる態度
 ★自らの行動を律し、高まろう
 ■課題発見・解決力 ◆論理的思考力・表現力
 ●協働性 ◆自己指導
 ♥ことばと数の獲得

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
期	I					II					III		
育てほしい児童の姿	■★遊びを含め、学習面、生活面において何事にも積極的に取り組もうとしている。 ◆先生や友達の話最後まで聞くことができる。 ●友達や先生に積極的に関わっている。 ★学校生活のまじまりを知り、自分のことは自分でできている。 ♥体験や活動の中で、自分が知っている言葉や数を積極的に使っている。					■なぜ?どうして?と思うことを見つけ、その課題に積極的に関わろうとしている。 ◆課題に対して自分の考えをもったり、先生や友達の意見を最後まで聞いたりしている。 ●友達や先生だけでなく、年長児とも関わり、それぞれに応じた接し方ができている。 ★安心して学校生活を送り、自分の仕事に責任を持って取り組んでいる。 ♥体験や活動の中で、不思議だと思ったことを言葉にし、既習事項を使ったりする。					■課題を見つけ、その課題について対話をしたり調べたりしている。 ◆友達と自分の考えを比べて聞いたり、伝えたりしている。 ●自分の成長を認め、お世話になった人に感謝の気持ちをもっている。 ★1年間の成長を振り返り、2年生への期待と目標をもっている。 ♥新しい言葉や数に関心をもち、積極的に使おうとしている。		

生活科を中心とした単元構成

生「がっこうとなかよし」

- 学校探検を通して、施設の場所や使い方を知り、場面に応じた行動について考える。
- ★おはなしたのいな「こんなものみつけたよ」「なんていおうかな」「としよかんへいこう」
- 算「10までのかず」「なんばんめ」
- 道「あかるいあいさつ」
- 学「はじめてのしようがっこう」

生「おもしろい あそびが いっぱい」

- 夏の遊びを想起し、他教科と関連を図り、砂遊び、水遊び、シャボン玉遊びなどを友達と工夫しながら行う。
- ★遊びを工夫したり試行錯誤をしたりしながら友達と話したり、お家の人に楽しかったことを絵や文に表したりする。
- 国「こんなことがあったよ」「としよかんへいこう」
- 算「あわせていくつ」
- 音「たなばたさま」
- 図「からふるいろみず」「すなやつちとなかよし」「ちよきちよきざり」
- 体「みずあそび」

生「いきものとなかよし」

- 生き物を探して、生き物を飼育し、観察したり調べたりして、生き物に親しみをもち、★
- 生き物を観察し、形や動きを言葉や体で表現したり、捕まえた生き物の数を数えたり分類したりする。
- 国「うみのかくれんぼ」「しらせたいな見せたいな」「ましがいをなぞう」
- 算「10よりおおきいかず」「どちらがながい」「ふえたりへたり」
- 体「表現あそび」
- 道「げんきてね、あげはくん」

生「ふゆと あそぼう」

- 身近にある冬を見つけたり、冬の自然状況を生かした遊びを工夫したりして、友達や異学年と遊ぶ。
- ★遊び方を5年生に聞いたり、年長児に教えたりする中で、わかりやすい話し方を工夫する。時計を見て行動したり、数を数えながら遊んだりする。
- 算「20より大きいかず」「なんじなんぶん」
- 音「はほんのうたをたのしもう」
- 図「ひらひらゆれて」
- 道「お正月」

生「はるを さがそう」

- 身近な場所の植物や生き物の変化を見つけ、春の訪れを感じる。
- ★春への変化を冬と比べて話したり、文章に表現したりする。見つけた植物の種類ごとに数えてグラフに表す。
- 国「大きくなった」
- 算「かずをせいりしよう」
- 音「うたってなかよし」

生「おいてよ あきのテーマパーク」

- 幼稚園・こども園の年長児を招待する相手意識をもち、秋見つけて採集したまっぼっくりやどんぐりなどの自然物を使って、友達と協力して作品を作る。
- ★年長児に1年生として思いやりをもって接する。
- ◆年長児の立場に立ったおもちゃの工夫について友達と相談したり、年長児へ思いやりのある声かけをしたりする。ゲームの道具の並べ方を考えたり、時間を計ったり、得点を計算したりする。
- 国「ものの名まえ」「日づけとよう日」「てがみでしらせよう」
- 算「たしざん」「ひきざん」「たすのかなひくのかな」「かたちあそび」
- 図「はこでつくったよ」
- 道「はしのうえのおおかみ」

生「もつすぐ2年生」

- 自分たちの成長を振り返ったり、お世話になった人に感謝の気持ちを持ったりし、進級する喜びやこれからの成長に期待を持って生活する。
- ★来年度の1年生に自分たちができていることを考える。
- ◆自分の成長を4月と比較して言葉や文章で表現する。6年生へ具体的な例を挙げながら感謝の気持ちを伝えたり、年長児へわかりやすい表現で小学校の紹介をしたりする。
- 国「これはなんでしょう」「いいこといっぱい1年生」
- 音「あいあい」「とんくるりんぱんくるりん」「子犬のマーチ」
- 体「多様な動きを作る運動あそび」
- 道「大すきだから」
- 学「2年生にむけて」
- 原「6年生を送る会」

生「あきと あそぼう」

- 秋の学習計画を自分たちで立て、秋「つけに行く。秋の自然に触れたり、まっぼっくりやどんぐりなどの自然物を採集したりして、工夫して遊ぶ。
- ★見つけた秋を言葉や体で表現したり、まっぼっくりやどんぐりを数えたり、数の違いを考えたりする。
- 国「こんなことがあったよ」
- 算「10よりおおきいかず」「たしざん」「ひきざん」
- 音「はるなつあきふゆ」
- 図「ならべてならべて」
- 体「表現あそび」
- 行「音楽発表会」

生「かぞくは なかよし」

- 家族の笑顔キーワードに、家族一人一人のよさに気づき、家族の一員として自分のできることを考え、実践する。
- ★家族に感謝の気持ちを伝える文章を書いたり、手伝いのがんばりをカレンダーに表したりする。
- 国「手がみでしらせよう」
- 算「おなじかずずつわけよう」
- 音「うたってなかよし」

環境構成	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
環境構成	15分×3のモジュール学習(集中力や思考の途切れない授業を柔軟に組む。)	朝タイムの自由遊び(1時間目の前に一人一人が関心をもった自由遊びに黙々と取り組む時間の確保)	登校後のお楽しみタイム(登校後の準備ができたら、外遊びや室内遊びを自分で選択して楽しむ時間を確保する。)	視覚的支援(片付け方や生活の流れなどを可視化して提示する。)	使いたいものが手に取れる環境(単元の関連図書やタブレット共用のテーブルやベンなどが自由に使える環境にしておく。)	柔軟な学習形態(学習内容に応じて、机や机を取り払った学習形態の授業を行う。)	つばやきを大切に授業(「わからない」「やってみよう」というつばやきを大切に、それらを価値づけていく。)	就学前の学びの想起(活動前に「園ではどうだった?」と尋ね、就学前の学びを生かした学習にする。)	異学年との交流(異学年交流を積極的に行い、人のかかわり方や活動の仕方を学ぶ機会をもち、園児へのかかわり方へ生かす。)	学校図書館司書との連携(関連図書の収集や紹介、読み聞かせをしてもらう。)	4月 子どもが話す宿題(1か月間は学校での出来事話す宿題を出す。)	3月 1年間の成長の報告(1年間の子どもたちの成長をスタートカリキュラムを踏まえてお知らせし、保護者にも成長を感じていただくとともに2年生への期待をもっていたら。)	
幼保連携	4月 スタート訪問(各園の先生に本校にいらしていただき、読み聞かせ等をしていただく。子どもたちの安心感へつなぐ。)	6月 「しゃぼんだまあそび」(年長児を招待し、一緒に活動を楽しむ。)	8月 保育参観(幼稚園・こども園の保育の様子を小学校の職員が参観し、学ぶ。)	校内研修(保育活動の工夫を、幼保の先生を講師とし、研修する。)	10月 「秋見つけ」(年長児と一緒にどんぐりや落ち葉拾いをする。)	11月 「音楽交流会」(1年生の音楽発表の様子を事前に披露する。)	12月 「秋のテーマパーク」「チューリップ植え」(年長児に、生活科(園に絵を描いたプランターを送って作ったおもちゃで楽しむ。)	1月 「冬の遊び」(年長児と一緒に冬の遊びを楽しむ。)	2月 「小学校での体験授業」(5年生が年長児を案内する。)	連携協議会の実施(年に3回以上適宜実施し、実践交流や幼保小に開く話し合いを行う。)	連携通信の発行(連携協議会の内容や子どもの様子について意識統一を図る。)	学びをつなぐ(就学前の活動や取組、声かけの工夫について聞き、小学校での活動に生かす。)	
家庭	4月 子どもが話す宿題(1か月間は学校での出来事話す宿題を出す。)	宿題・時間割の確認のお願い(気持ちのよいスタートのために確認してもらう。)	日々の様子の連絡(メール配信システムを使って、学級通信や学年通信を配信)	作品・活動へのコメント依頼(お家の人に向けて書いた文章などにコメントをもらう。)	材料集めの協力依頼(お家の人に向けて書いた文章などにコメントをもらう。)	規則正しい生活の呼びかけ(特に長期休暇明けに「早寝・早起き・朝ごはん」を意識してもらう。)							